

一 次は、田植え体験をした生徒の作文です。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

受検番号

わたしは、五月に田植え体験に①サンカしました。お昼ごろから、田植えをする田んぼに向かい、地域の方から田植えについて②セツメイを受けました。

十二〜十五センチメートルほどの長さに生長したいねの苗を、田んぼに植え付けることを田植えと言います。田植えの時期は地域によって違います。四月から六月に田植えをすることがほとんどで、その中でも特に五月に行うことが多いそうです。昔は、すべて手作業で苗を植え付けていましたが、③近年では、トラクターなどの④キカイを使用する④ノウカがほとんどで、すべて手作業で植えることは少ないと聞きました。田んぼを見わたして、「こんなに広い田んぼに手作業で植えることができるのかな。」と心配な気持ちになりました。

わたしは、田んぼの一番はしの場所を担当することになりました。水がはってある田んぼに入ると、冷たくて、ゆるっとしていました。最初は、慣れない感覚で歩きづらく、バランスをくずしてたおれそうになる度に友達に支えてくれました。I、だんだん慣れてくると、一人で後ろに下がりながら植え付けることができるようになりました。苗は、思っていたよりも細くてやわらかいので、おどろきました。苗を持つときに力を入れすぎると折れてしまうことがあり、力加減がむずかしかったです。そこで、わたしは、三本の指を使って苗の根元部分をしっかりと⑤コテイさせて持ちました。II、苗を折らずに植え付けることができました。

となりで友達が植えづらそうにしていたので、苗の持ち方を教えてあげました。しばらくするとその友達が、「さっきは、教えてくれてありがとう。君の教えてくれたとおりにしたら、すごく植えやすいよ。」と話しかけてくれました。わたしはともうれしい気持ちになりました。

すべての苗を植え終わるころには、⑥西の空が少し赤くなっていました。ふと周りを見ると、はじめは何もなかった田んぼ一面に、植えたての苗が広がっていました。⑦泥だらけになった足を水であらいながら、わたしは満ち足りた気持ちになりました。

今回の田植え体験では、仲間と協力して最後までやりとげることができました。⑧このことは、これからの学校生活や、将来、⑨ハタラクようになってからも、大切にしていこうと思いました。植えた苗が大きくなり、お米がとれる日が楽しみです。

一 文中の——線部①から⑥までのカタカナを漢字にして()に書きなさい。

- ① サンカ () ② セツメイ () ③ キカイ ()
- ④ ノウカ () ⑤ コテイ () ⑥ ハタラク () ()

2 田植えはいつ行われることが特に多いと書かれていますか。文中のことはをぬき出して()に書きなさい。

3 文中の——線部⑩と同じ意味のことを次のアからオまでの中から一つ選び、その記号を()に書きなさい。

- ア 当初 イ 未来 ウ 最近 エ 最新 オ 来年

1 文中の——線部①から③について、会話の意味が変わらないように敬語に直して□に書きなさい。

受検番号

③	②	①

2 職場実習の事前打ち合わせの日時はいつになりましたか。次の□に、それぞれ漢字一字ずつ書きなさい。

月	日	曜日	午後	時

3 文中の——線部④について、この会話の中で使われている意味として正しいものを次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を□に書きなさい。

- ア 話を聞きたい
- イ 訪問したい
- ウ 様子を見たい
- エ 質問したい

3 次は、ある町の防災パンフレットから一部をぬき出したものです。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ドン!」「グラッ!」を感じたら

あわてず確実に

地震発生!

●まず自分の身を守ることを考えます。つくえやベッドの下に身をかくし、ねているときはふとんやまくらで頭をかくします。

1～2分後

●ゆれがおさまったら火の元の確認を行います。火災の発生に十分注意しましょう。ゆれを感知して自動でガスが止まるコンロもあるので無理をはいけません。

●ドアや窓を開けて出口を確保します。建物ががたむいているとドアなどが開かなくなることがあります。

●避難するときはあわてずに行動します。われたガラスなどから足を守るために必ずくつをはいて避難しましょう。

5～10分後

●テレビやラジオなどから正しい情報を集めます。不確かなうわさなどにまどわされないようにしましょう。

1 地震が発生したらまず考えなければならぬことは何ですか。文中の□をぬき出して□に書きなさい。

2 地震発生から1〜2分後の行動として、避難するときには必ずくつをはく必要があるのはなぜですか。文中の□をぬき出して□に書きなさい。

3 地震発生後の行動として正しいものを次のアからオまでの中からすべて選び、その記号を□に書きなさい。

- ア ドアや窓を開けて出口を確保しておく。
- イ テレビやラジオなどの情報は不確かなので信じない。
- ウ ガスコンロは地震のゆれを感知して自動でガスが止まるので確認する必要はない。
- エ 地震のゆれがおさまったら、火の元の確認を行い火災を防ぐ。
- オ ねているときに地震が発生したら、すぐに家を出て外の様子を確認する。

